



## 第一回「実行画面を大きくしよう」

さて、今回の OnePointLesson は「**実行画面を大きくする方法**」です。

F-BASIC の実行画面（黒い背景に白い文字の画面）を DOS の画面だと思われている方もいらっしゃるかもしれませんが、これはれっきとした Windows の画面です。

ではなぜ黒いのか？

それは、DOS-BASIC から移行されたお客様が戸惑わないようにと、開発者のほうが配慮をしまして初期設定で黒い背景に白い文字にしてあるのです。

ここで、読者の方は思ったはずです。

「そこまで配慮してくれるなら、昔のようにフル画面で実行できないの？」

そうですね。やはり、使い慣れた昔のままのインターフェイスで使いつづけたいですよね。現在の実行画面は、最大化ボタンを押しても大きくならないですね。

なぜならないのか？

それは、この画面が DOS の時代と同じように 80 文字×24 行に設定してあるからです。ですから、これ以上には画面は大きくできないのです。ここままで勘の良い読者の方なら気づかれたかもしれませんが、文字を大きくすれば実行画面も大きくなるのです。

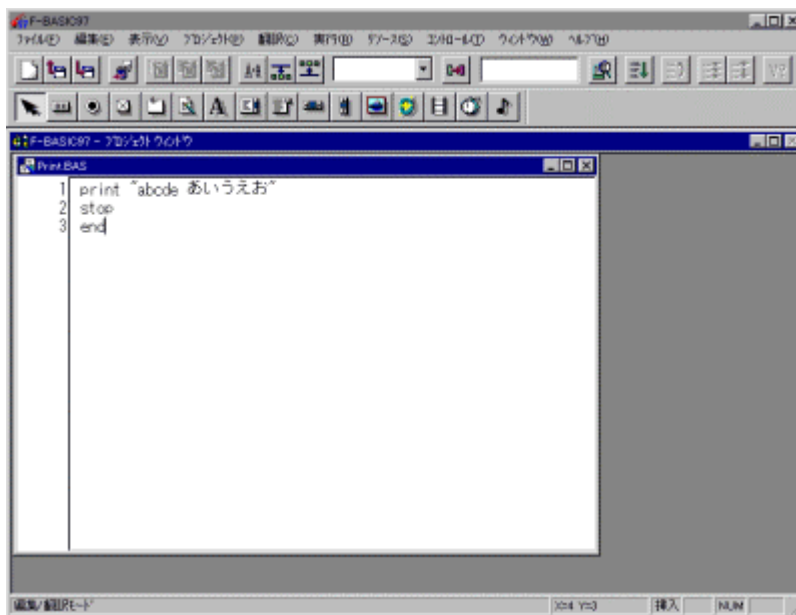
それでは、実際にどのように実行画面を大きくするのかを説明しましょう。

# One Point Lesson

## 第一回「実行画面を大きくしよう」

### 手順 1

まず、ご自分のプログラムを F-BASIC で読み込みます（図 1）。



（図 1）

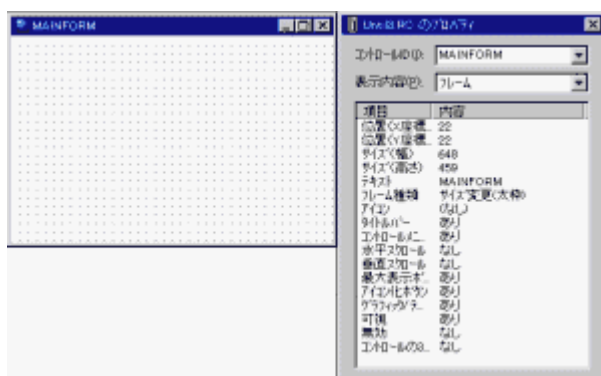
# One Point Lesson

## 第一回「実行画面を大きくしよう」

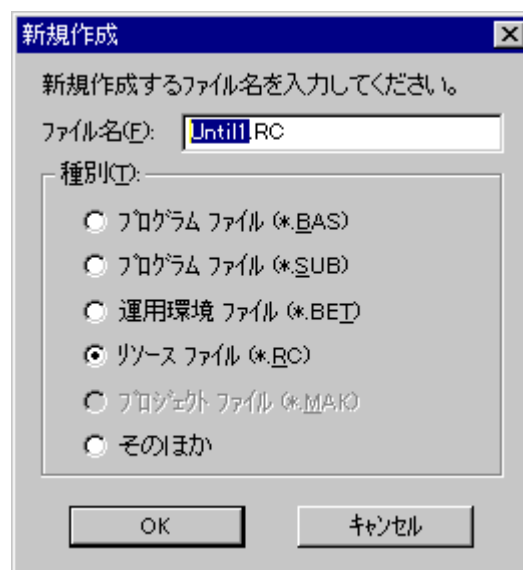
### 手順 2

オリジナルの実行画面を作り、プログラムと結び付けて実行画面を大きくします。

そのためには、リソースファイルを使います。その作り方ですが、メニューから[ファイル]-[新規作成]を選んでもらいますとダイアログが出てきます(図 2-1)。そこで上から 4 番目「リソースファイル(\*.RC)」をクリックしさらに、「OK」ボタンを押します。そうすると、Mainform とプロパティウィンドウが出てきます(図 2-2)。



(図 2-2)



(図 2-1)

# One Point Lesson

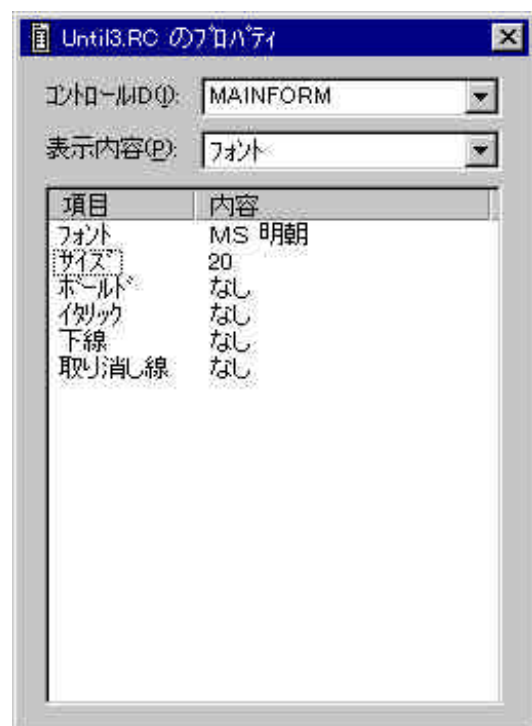
## 第一回「実行画面を大きくしよう」

### 手順 3

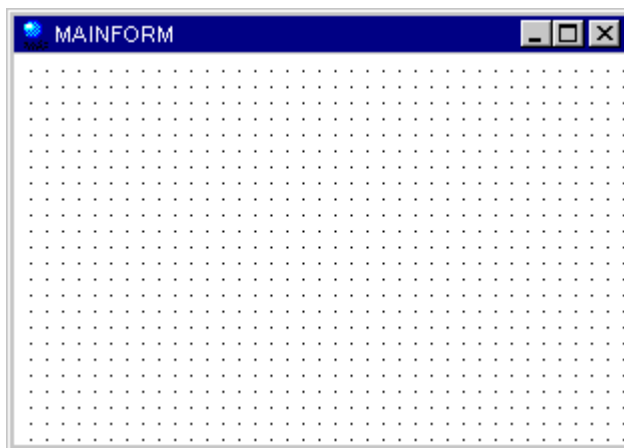
プロパティウィンドウの[表示内容 (P)]の「？」ボタンを押してメニューの中から[フォント]を選択します。

そして、項目の中の[フォント]をクリックすると内容が反転して「？」ボタンが出てきて いろいろなフォントが選べるようになります。この中から、今回は「MS 明朝」を選択します。この時にベクトルフォントを選ぶ必要があります。

次に、項目の[サイズ]をクリックしてフォントを変更したときと同じように、今回は 20pt に変更します (図 3 - 1)。



(図 3 - 1)



(図 3 - 2) Mainform

# One Point Lesson

## 第一回「実行画面を大きくしよう」

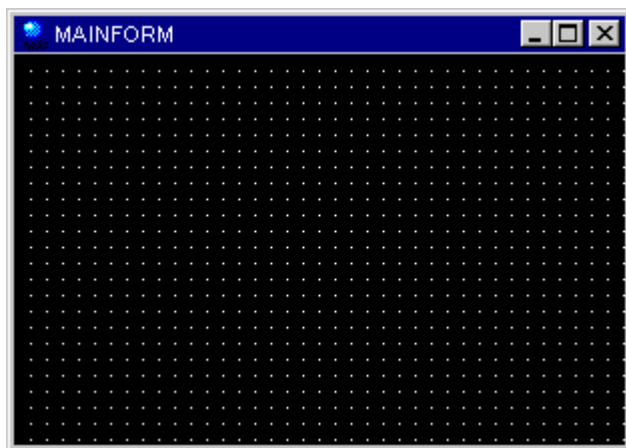
### 手順 4

プロパティウィンドウの[表示内容 (P)]の「？」ボタンを押してメニューの中から今度は[カラー]を選択します。今、[バックグラウンドカラー]-[白],[フォアグラウンドカラー]-[黒],[テキストカラー]-[黒]となっていますがこのままだと、白い背景に黒い文字の実行画面になってしまいます。

そこで、[バックグラウンドカラー]-[黒],[フォアグラウンドカラー]-[白],[テキストカラー]-[白]とします(図 4 - 1)。これで、黒い背景に白い文字の画面になりました。これで、オリジナルの実行画面が出来上がりました(図 4 - 2)。



(図 4 - 1)



(図 4 - 2)

# One Point Lesson

## 第一回「実行画面を大きくしよう」

### 手順 5

さて、今作りましたオリジナルの実行画面と読者の方の実行画面とを結び付けましょう。

メニューの[プロジェクト(P)]-[環境(E)]を選択するとプロジェクト環境ダイアログが出てきます(図5)。このダイアログの上から4番目[リソースファイル(R)]の「?」ボタンを押してリストの中から今作ったリソースファイルを選択します。

そして、「OK」ボタンを押してダイアログを閉じます。



(図5)

# One Point Lesson

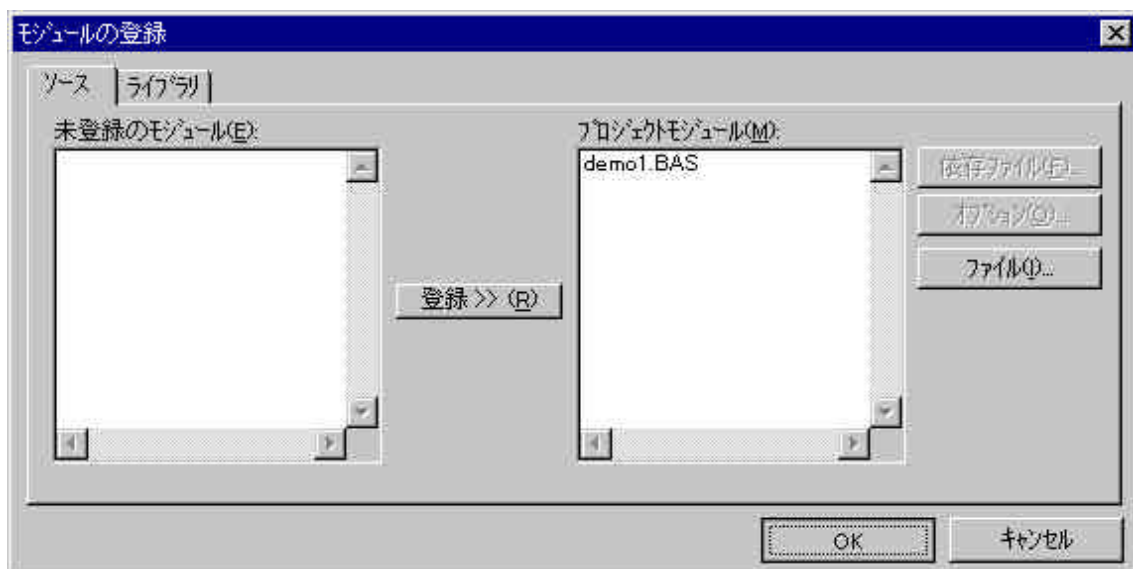
## 第一回「実行画面を大きくしよう」

### 手順 6

さらに、メニューの[プロジェクト (P)]-[モジュール (M)]を選択すると モジュール登録ダイアログが出てきます。

このダイアログの左に読者の方のプログラム名が表れていますよね。このプログラム名を選択し「登録>> (R)」ボタンで登録します (図 6)。

そして、「OK」ボタンを押してダイアログを閉じます。



(図 6)

## **One Point Lesson**

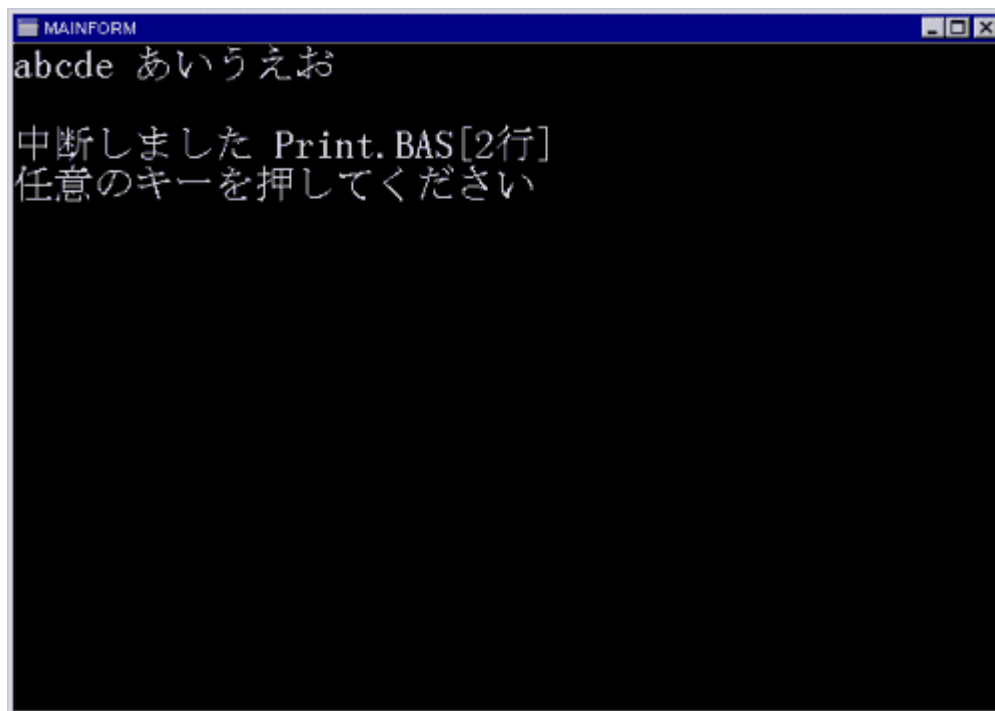
### 第一回「実行画面を大きくしよう」

#### 手順 7

これで、すべての作業が終了です。あとは、翻訳ボタンを押してプログラムを翻訳するだけです。

どうですか？ 大きくなりましたか？ 大きくならないときは、最大化ボタンを押してみてください。

ほら、大きくなったでしょ？ (図 7)



(図 7)